

「フィリピンに本をおくる会」通信 No10 2020/7

発行所：『フィリピンに本をおくる会』事務局（代表：金子多美江）

〒338-0012 さいたま市中央区大戸4-8-13 ☎ 048-831-7538



～5年目を終わるにあたって～

皆さん、ご無沙汰いたしました！新型コロナウイルスの出現・拡散に加えて大雨・地震と天災・人災続きの中で、苦闘されながらも元気を出しておいでのことと思います。本会もまとめの時期であったのに、すべての活動は停止し、「通信」の発行が遅れたこと、お詫び申し上げます。

コロナの中でもこんなに沢山の作品ができた！

コロナの蔓延はフィリピンも例外でなく、感染はいまだに続いている上、政治情勢もきつくなり苦労しているようですが、相変わらず貧困の中でもたくましく生きているとのこと。（裏面の現地だよりをお読みください。）

制作に励む「あむあむ」メンバー

「フィリピンに本をおくる会」は5年を経て大きな成果を残し、現地に不可欠の存在として、ますます必要性が高まっています。たゆむことなく続けた翻訳活動をはじめ、多くの方々からお寄せいただいた寄付金、「あむあむ」会の作品制作・販売の努力、立教セカンドステージ大学4期生「応援団」の力と行動力の支援、などなど十数団体に支えられながら続けてまいりましたが、今年度で活動を終了するのはとても残念と、継続の方策を多方面に求めてきました。

その結果、立教セカンドステージ大学の「シニアの再チャレンジを支援する会（略称：さいちゃれ）」（NPO法人：代表 岩熊徹）の応援を全面的に得られることになりました。同会は、IT機器を駆使し、合理的・広域的に発信できる力を持っており、今後の活動を一層広げ、高めてくれるでしょう。また、フィリピン人の方2名が参加してくれることになり、現地スタッフと同時通訳しながら直接交流ができるなど、新たな展望が開けました。

今後は、方法は少し違って来るかもしれませんが、「フィリピンの子どもたちに本の喜びを！！」という目的に沿った活動内容は変わりません。また、会の名称も変わりません。

皆さん、この5年間のご協力に深く感謝するとともに、今後もこれまでと変わらぬお力をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

～後期活動報告（10月～3月）～

10月・大宮フリーマーケット

（Iさんグループの商品レイアウトが人目を惹き、売上過去最高）

・紙芝居4点届き、翻訳・応募

11月・本の整理：翻訳困難本を施設などに寄贈

12月・「あっぷるはうす」展示即売会

（大宮氷川神社十日市と重なり、大繁盛）

<2020年>

1月・「びーんず」展示即売会

（毎年Hさんが小銭をためた袋を寄付してくださるのに感激！）

・委託販売を依頼していた「歩歩路」終了

・さいたま市社会福祉協議会から表彰

・本づくりの会（金子宅）

3月・本づくりの会中止

⇒⇒以後、新型コロナウイルス拡散のため、活動停止！！



本の整理も大変！



コロナのため送れず、

日本で待ちぼうけの本たち

◆◆ 現地だより ◆◆ 日本の皆様へ！！



コロナにも負けず元気です！！

日本の皆様、コロナの拡散の中でもお元気でお過ごしでしょうか？
 こちらは何とか元気で過ごしておりますが、コロナの影響は大きく、想像以上に厳しいロックダウンで、外出は買い物のみ、町への出入りも許可証が必要という状態。その間は、役場から支給された食糧と一家庭8000ペソ（約2万円）のお金のおかげで、大家族でもなんとかしのぐことができました。まだまだ油断できません。図書館もずっと閉館でしたが、5月から次のようにしました。

*9歳以下は入館できないが、親や兄・姉が来れば貸し出しはする。

*10歳以上はソーシャルディスタンスのガイドラインを守らせ、

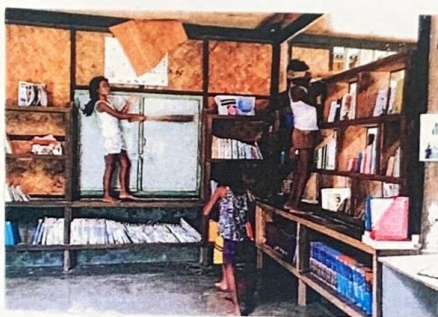
9:00~15:00まで開館する。

学校も休みですが、文部省が地域単位の学習スケジュールを立てています。

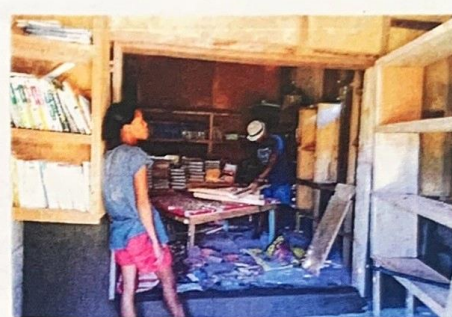
今は雨期、台風も洪水もあり、オモンが体調不良で休んでいますが、スタッフ・ボランティアでコロナに負けず頑張ります。「さいちやれ」が引き続き支援して下さること、感謝します。皆さんもどうぞお元気で。



休校の間も本を借りに！



休校の間に図書館をきれいに！



休校の間に修理しちゃおう！

オモンの詩

コロナ コロナ 失せておくれ
 たくさんの方が苦しんでいる
 貧しい人も金持ちも老人も
 みんな苦しんでいる
 親たちは生活に疲れ
 子どもたちは学校に行けず
 でも、私たちは頑張る

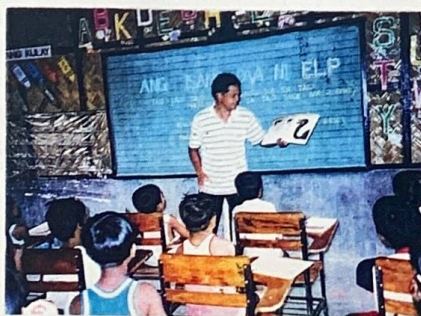
コロナ コロナ 失せておくれ
 きれいな地球に戻しておくれ
 また幸せの場所にしておくれ
 子どもたちに本を読む喜び
 図書館のある喜びを
 ずっとずっとあたえておくれ

*日本の皆さん、5年間たくさんのご支援有難う！！

ソロモン・メンデス

~~感謝の言葉~~ (SPM: リサ・ヌリアル) ~~~~~

日本の皆さま、5年間の大きなご支援を心から感謝します。
 5年前、JOES(前の組織)の解散が決まり、図書館はどうなるのか途方に暮れてミセス金子に相談、「無給になっても続ける覚悟ありますか?」と聞かれて「ハイ、やります!」と答え、それから一緒にとミセス金子とこの会を始めました。苦労の連続でしたが、~貧しくても心は豊か~で私たちはこの仕事のできたこと、誇りに思っています。何より嬉しいのは、子どもたちが沢山図書館にやってきて本を読み、本を大好きになってくれたことです。ボランティアもとても協力してくれます。私たちはこの図書館を決して他人任せにせず守っていきます。どうぞこれからも後押しをお願いします。



読み聞かせをするオモンさん



スタッフ会議: 左より リサさん

テルマさん、アナリンさん、ジャンスさん

ごあいさつ

コロナ禍の中、大幅に遅れましたが2019年度の会計報告をお届けいたします。今年度も繰越金が多くありますが、これは少しでも多く残し痛みの激しい図書館を、早晚、新築・移築・改築したいと節約して残してきたものです。今回、これをそのまま「さいちゃれ」に引き継いでいただくことを、皆様ご了承くださいるよう勝手ではありますがお願い申し上げます。皆さんと話し合ってきた、コンクリートで洪水にも流されず、ソーラー付きで、夜間も読書できる図書館も欲しいな—という夢も引き継いでほしいと願っています。

5年間お寄せくださったご厚情は忘れません。フィリピンも沢山の問題を抱えておりますが、今後とも見守ってくださるようお願いしています。皆さま、コロナに負けず、お元気でお過ごしくださることをいつも祈っています。有難うございました。

2020年8月 代表 金子多美江

会計報告

(2019.5～2020.7)

収 入		支 出	
寄付金	228,049	現地運営費、活動費	630,000
「あむあむ」収益金	950,000	文書便代	5,600
預金利息	10	絵本購入代金	12,850
		絵本作り費用（翻訳謝礼、宅急便、シール代等）	76,943
		通信・案内ハガキ等作成費用、郵送費、通訳謝礼	119,858
小 計	1,178,059	小 計	845,251
前期繰越金	1,314,955	次期繰越金	1,647,763
合 計	2,493,014	合 計	2,493,014

【支援金振込先】 ゆうちょ銀行 【店名】 ○三八（ゼロサンハチ） 【預金種目】 普通預金
【口座番号】 8300723
【口座名義】 カネコ タミエ （金子 多美江）

◆こんにちは！「さいちゃれ」です。*****

「フィリピンに本をおくる会」の活動に参加させていただくことになりました
NPO法人「シニアの再チャレンジを支援する会」（略称：さいちゃれ）です。

「さいちゃれ」は、人生のファーストステージとしての仕事人生を終えて、
多様なセカンドステージに入ろうとするアクティブなシニアが、スムーズに勇
気ある一步を踏み出すための支援を行うことを目的に設立されました。

実践セミナーの開催、IT講座、就労の場の情報提供、社会貢献活動の場
の提供等、様々な活動を通して、自分にとっての「さいちゃれ」とは何なのか
を考え、セカンドステージをポジティブに楽しく生きることを、皆様と一緒に目指しています。

「フィリピンに本をおくる会」の活動支援については、立教セカンドステージ大学の先輩である金子代表と
の出会いを通じて、長年意義ある活動を続けてこられたことに感銘を受け、全員一致でこの活動の灯を消して
はならないという思いで、この度の活動参画に至りました。

支援者の皆様のご意向に沿うように、会員一同懸命に取り組んでまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

